

2024年12月期 第2四半期（中間期）決算短信〔日本基準〕（連結）

2024年8月5日

上場会社名 マークラインズ株式会社 上場取引所 東
コード番号 3901 URL https://www.marklines.com
代表者（役職名） 代表取締役社長（氏名） 酒井 誠
問合せ先責任者（役職名） 財務経理部長（氏名） 釜澤 英紀（TEL）03-4241-3901
半期報告書提出予定日 2024年8月8日 配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無 : 有
決算説明会開催の有無 : 有（機関投資家・アナリスト向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2024年12月期第2四半期（中間期）の連結業績（2024年1月1日～2024年6月30日）

（1）連結経営成績（累計）

（%表示は、対前年中間期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する中間純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期中間期	2,785	16.2	1,113	14.5	1,119	15.1	788	17.3
2023年12月期中間期	2,398	16.0	972	25.1	972	23.9	671	22.6

（注）包括利益 2024年12月期中間期 860百万円（15.2%） 2023年12月期中間期 746百万円（30.1%）

	1株当たり 中間純利益	潜在株式調整後 1株当たり 中間純利益
	円 銭	円 銭
2024年12月期中間期	59.64	59.58
2023年12月期中間期	50.84	50.79

（2）連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2024年12月期中間期	8,138	5,889	72.4
2023年12月期	7,484	5,504	73.5

（参考）自己資本 2024年12月期中間期 5,889百万円 2023年12月期 5,504百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年12月期	—	0.00	—	36.00	36.00
2024年12月期	—	0.00	—	—	—
2024年12月期（予想）	—	—	—	42.00	42.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 2024年12月期の連結業績予想（2024年1月1日～2024年12月31日）

（%表示は、対前期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	5,700	17.6	2,300	15.5	2,300	15.7	1,600	15.7	121.07

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当中間期における連結範囲の重要な変更 : 無
新規 一社(社名) - 、除外 一社(社名) -
- (2) 中間連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年12月期中間期	13,220,800株	2023年12月期	13,215,200株
② 期末自己株式数	2024年12月期中間期	442株	2023年12月期	442株
③ 期中平均株式数(中間期)	2024年12月期中間期	13,215,988株	2023年12月期中間期	13,214,758株

※ 第2四半期(中間期)決算短信は公認会計士又は監査法人のレビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理性があると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、P4「(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 中間連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 中間連結貸借対照表	5
(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書	7
中間連結損益計算書	7
中間連結包括利益計算書	8
(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当社グループは当中間連結会計期間(2024年1月1日から2024年6月30日まで)において成長戦略に挙げたテーマに取り組んでまいりました。

情報プラットフォーム事業については、コロナ禍収束に伴い、潜在顧客のおよそ9割が所在する海外に再び目を向けビジネスのグローバル展開を再加速する取り組みに着手しました。営業部をグローバル営業1部、グローバル営業2部の2部体制に移行し、それぞれが北米、欧州及びアジアの各地域を軸に営業活動を展開することで、各地域における市場の変化などに柔軟に対応できるようにしました。また、日本から在外子会社に若手社員を出向者として派遣し本社で蓄積されたノウハウを移植する活動に取り組むとともに、海外出張を再開し人材交流の活発化を図りました。コンテンツ面においては、8年ぶりに情報プラットフォームのトップページを一新し、EV、AD/ADASなど7つのテーマごとにコンテンツを閲覧できるようレイアウト変更を図るとともに、AIナビ、及びBIダッシュボードを新機能として実装しました。これに伴い、検索したいコンテンツにより早く正確にアクセスできるようになると同時に、台数情報を様々な切り口でグラフ化することが可能となりました。また、自動車業界で注目度の高いSDV(Software Defined Vehicle) /ソフトウェアベンダーについて、当該ベンダーの概要、製品、パートナーシップ、及び最近の動向などを取りまとめたレポートを掲載するとともに、電動化に関するコンテンツとして、バッテリー生産工場やR&D拠点のデータを拡充しました。さらに、BYD、Xiaomi、Huaweiなどの発表会を市場技術レポートとして掲載し、海外市場開拓の状況など中国メーカーの動向に関するコンテンツを増強しました。テレビ局・新聞社などのメディアが情報プラットフォームの台数情報を活用する機会も増加し、その都度、社名がクレジットされることで当社の認知度向上が進みました。以上の結果、契約社数は前連結会計年度末から246社増加(前年同期288社)の5,420社となりました。

情報プラットフォーム事業以外の事業に関して、コンサルティング事業については、受注件数及び受注単価ともに上昇したことを受け売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回りました。市場予測情報販売事業は、引き続き契約更新率が高水準で推移したため売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。プロモーション広告事業は、機械設備及びソリューションベンダーからのリピート受注が安定的に推移したことにより、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で増加しました。分解調査データ販売事業については、販売本数が前年同期の47本から23本に減少した影響を受け売上高、セグメント利益ともに前年同期比で減少となりました。車両分解・計測事業については、自動車メーカーから初受注した計測案件の検収にともない第1四半期において売上を新たに計上しました。車両・部品調達代行事業については、欧州、日本及び中国の自動車メーカーに係る車両本体、部品などの調達案件が全体の7割超を占めるなど受注は比較的好調に推移しました。人材紹介事業については、成約件数が前年同期の50件から20件と大幅に減少した影響を受け売上高、セグメント利益ともに前年同期比で大きく減少しました。自動車ファンド事業については、関連会社である「自動車産業支援ファンド2021投資事業有限責任組合」から毎期定額で受領する管理報酬を売上として計上しております。

この結果、当社グループの当中間連結会計期間における業績は売上高2,785百万円(前年同期比16.2%増加)、営業利益は、1,113百万円(前年同期比14.5%増加)、経常利益は、1,119百万円(前年同期比15.1%増加)、親会社株主に帰属する中間純利益は、788百万円(前年同期比17.3%増加)となりました。

各セグメントの経営成績は以下の通りであります。

なお、当中間連結会計期間より、新たに車両分解・計測事業を報告セグメントとして追加しております。当中間連結会計期間の比較・分析は、変更後の区分に基づいております。

○ 事業セグメント別損益(連結ベース)

		前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	増減率 (%)
情報プラットフォーム事業	売上高	1,496	1,772	+18.5
	セグメント利益	924	1,074	+16.2
コンサルティング事業	売上高	248	314	+26.2
	セグメント利益	62	85	+36.9
市場予測情報販売事業	売上高	127	157	+23.9
	セグメント利益	37	49	+32.2
プロモーション広告事業	売上高	43	55	+27.0
	セグメント利益	37	48	+29.7
分解調査データ販売事業	売上高	158	94	△40.6
	セグメント利益	70	40	△42.7
車両分解・計測事業	売上高	—	93	—
	セグメント利益	—	36	—
車両・部品調達代行事業	売上高	206	234	+13.5
	セグメント利益	37	34	△6.9
人材紹介事業	売上高	97	43	△55.3
	セグメント利益	43	5	△87.6
自動車ファンド事業	売上高	19	19	+0.3
	セグメント利益	0	0	+37.5
売上高 計		2,398	2,785	+16.2
セグメント利益 計 ①		1,213	1,375	+13.4
部門共通費 ②		△240	△262	—
営業利益 計 ①-②		972	1,113	+14.5

- 情報プラットフォーム事業：売上高1,772百万円(前年同期比18.5%増加)、セグメント利益(営業利益)1,074百万円(前年同期比16.2%増加)

当中間連結会計期間における情報プラットフォーム契約社数は前連結会計年度末から246社増加(前年同期288社増加)の5,420社となりました。足元では、新規の7割超が海外顧客との契約となっており、前年の下期から本格的に稼働を開始したメキシコ子会社の契約獲得が社数増に寄与するなど、北米地域を中心に海外売上高の伸びが顕著となりました。

○ 情報プラットフォーム事業地域別売上高

地域	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日) (百万円)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日) (百万円)	増減率(%)
日本	630	675	+7.2
中国	263	327	+24.4
アジア	251	315	+25.5
北米	175	239	+36.8
欧州	166	202	+21.5
その他	9	11	+22.9
合計	1,496	1,772	+18.5

- コンサルティング事業：売上高314百万円（前年同期比26.2%増加）、セグメント利益（営業利益）85百万円（前年同期比36.9%増加）
 当中間連結会計期間のコンサルティング事業は、第1四半期においてECUベンチマークやコスト比較分析などが好調に推移しました。また、自動車メーカーから定期的に引き合いが届くようになり、これまでよりも付加価値が高い案件が増加しました。その結果、平均受注単価が上昇するとともに受注件数も増加し、売上高、セグメント利益ともに上昇しました。
- 市場予測情報販売事業：売上高157百万円（前年同期比23.9%増加）、セグメント利益（営業利益）49百万円（前年同期比32.2%増加）
 当中間連結会計期間の市場予測情報販売事業は、前年同期との比較で契約の更新率が高水準で推移しました。また、EV、PHVなどパワートレイン別に将来予測情報を入手したいというニーズが高まり高価格帯の製品販売が増加しました。その結果、売上高、セグメント利益ともに前年同期を上回る結果となりました。
- プロモーション広告事業：売上高55百万円（前年同期比27.0%増加）、セグメント利益（営業利益）48百万円（前年同期比29.7%増加）
 当中間連結会計期間のプロモーション広告事業は、引き続きリピート受注が増加傾向を示したこと、及び資料請求をきっかけとした受注が増加したことなどにより、売上高は前年同期比で27.0%の増加となりました。
- 分解調査データ販売事業：売上高94百万円（前年同期比40.6%減少）、セグメント利益（営業利益）40百万円（前年同期比42.7%減少）
 当中間連結会計期間における分解調査データ販売事業は、Hyundai IONIQ5や当社内製レポートの販売などが業績に寄与したものの、新たに販売開始を予定していたTesla CYBERTRUCKなどのレポート投入が下期にずれ込むなど、当初の販売計画と実績との間に乖離が生じました。
- 車両分解・計測事業：売上高93百万円（前年同期比―）、セグメント利益（営業利益）36百万円（前年同期比―）
 車両分解・計測事業は、下期に予定している新しいベンチマークセンターの稼働に合わせて本格的なスタートを予定しておりますが、これに先立ち自動車メーカーから受注した計測案件の検収を受け売上を計上しました。
- 車両・部品調達代行事業：売上高234百万円（前年同期比13.5%増加）、セグメント利益（営業利益）34百万円（前年同期比6.9%減少）
 当中間連結会計期間における車両・部品調達代行事業は、電動化に係る車両本体、部品及びインフラ関連設備（急速充電器）などの案件が好調に推移し売上高は前年同期比13.5%の増加となりました。一方で、セグメント利益については、前年同期との比較で粗利率の低い案件が増加したことにより前年同期比6.9%減少という結果となりました。
- 人材紹介事業：売上高43百万円（前年同期比55.3%減少）、セグメント利益（営業利益）5百万円（前年同期比87.6%減少）
 当中間連結会計期間の人材紹介事業は、成約件数が20件（前年同期50件）となりました。事業部門内の人員構成が、ベテランコンサルタントから新人コンサルタント中心に大きく入れ替わる事態が発生し、この影響から成約件数が大きく減少し、売上高、セグメント利益ともに前年同期比で大幅減となりました。
- 自動車ファンド事業：売上高19百万円（前年同期比0.3%増加）、セグメント利益（営業利益）0百万円（前年同期比37.5%増加）
 当中間連結会計期間の自動車ファンド事業は、体制に大きな変更がなかったため、売上高、セグメント利益ともに前年同期比でほぼ横ばいで推移しております。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年2月9日に公表しました2024年12月期の通期の連結業績予想に変更はありません。

2. 中間連結財務諸表及び主な注記

(1) 中間連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,521,123	5,943,912
売掛金	234,811	180,039
商品	26,650	39,955
仕掛品	12,446	3,335
前渡金	23,258	32,844
前払費用	33,177	27,996
その他	23,513	28,790
貸倒引当金	△2,403	△1,372
流動資産合計	5,872,578	6,255,500
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	38,635	40,738
減価償却累計額	△10,937	△12,458
建物及び構築物(純額)	27,698	28,279
土地	367,207	369,801
建設仮勘定	235,994	468,908
その他	69,218	74,010
減価償却累計額	△49,219	△53,351
その他(純額)	19,998	20,659
有形固定資産合計	650,899	887,648
無形固定資産		
ソフトウェア	45,022	68,983
その他	10,183	11,088
無形固定資産合計	55,206	80,071
投資その他の資産		
投資有価証券	683,995	705,066
破産更生債権等	539	-
長期前払費用	262	191
敷金及び保証金	128,611	127,855
長期預金	59,760	67,050
繰延税金資産	32,975	15,445
貸倒引当金	△539	-
投資その他の資産合計	905,605	915,609
固定資産合計	1,611,710	1,883,329
資産合計	7,484,288	8,138,829

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当中間連結会計期間 (2024年6月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	90,714	60,961
未払金	16,792	32,847
未払費用	51,982	45,271
未払法人税等	327,994	322,994
未払消費税等	56,150	48,362
前受金	1,372,452	1,673,494
役員賞与引当金	13,000	8,000
預り金	26,758	21,754
賞与引当金	14,633	22,562
その他	-	2,006
流動負債合計	1,970,478	2,238,254
固定負債		
退職給付に係る負債	9,725	10,962
固定負債合計	9,725	10,962
負債合計	1,980,203	2,249,216
純資産の部		
株主資本		
資本金	371,351	371,911
資本剰余金	289,158	289,718
利益剰余金	4,751,713	5,064,132
自己株式	△784	△784
株主資本合計	5,411,438	5,724,978
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	31,931	59,457
為替換算調整勘定	60,714	105,177
その他の包括利益累計額合計	92,646	164,634
純資産合計	5,504,084	5,889,612
負債純資産合計	7,484,288	8,138,829

(2) 中間連結損益計算書及び中間連結包括利益計算書

中間連結損益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
売上高	2,398,115	2,785,538
売上原価	837,533	988,262
売上総利益	1,560,582	1,797,275
販売費及び一般管理費		
販売促進費	11,253	11,036
販売手数料	190	198
広告宣伝費	8,066	9,314
役員報酬	28,020	35,266
給料及び手当	287,761	329,866
賞与引当金繰入額	10,772	12,978
退職給付費用	7,130	7,397
法定福利費	49,996	58,111
減価償却費	4,751	4,258
貸倒引当金繰入額	1,077	△1,570
賃借料	37,379	44,317
その他	141,205	172,400
販売費及び一般管理費合計	587,605	683,574
営業利益	972,976	1,113,700
営業外収益		
受取利息	3,364	3,989
受取配当金	3,513	4,539
為替差益	892	5,346
その他	2,941	2,692
営業外収益合計	10,711	16,567
営業外費用		
持分法による投資損失	10,699	10,753
その他	0	85
営業外費用合計	10,699	10,838
経常利益	972,989	1,119,429
税金等調整前中間純利益	972,989	1,119,429
法人税、住民税及び事業税	291,065	318,047
法人税等調整額	10,106	13,230
法人税等合計	301,172	331,278
中間純利益	671,816	788,150
親会社株主に帰属する中間純利益	671,816	788,150

中間連結包括利益計算書

(単位：千円)

	前中間連結会計期間 (自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)	当中間連結会計期間 (自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)
中間純利益	671,816	788,150
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	48,826	9,739
為替換算調整勘定	25,981	44,462
持分法適用会社に対する持分相当額	-	17,786
その他の包括利益合計	74,808	71,988
中間包括利益	746,625	860,139
(内訳)		
親会社株主に係る中間包括利益	746,625	860,139

(4) 中間連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前中間連結会計期間(自 2023年1月1日 至 2023年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	コンサルティング事業	市場予測情報販売事業	プロモーション広告事業	分解調査データ販売事業	車両分解・計測事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,496,141	248,914	127,436	43,521	158,390	—
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,496,141	248,914	127,436	43,521	158,390	—
セグメント利益	924,074	62,234	37,705	37,757	70,507	—
	報告セグメント				調整額 (注1)	中間連結損益 計算書計上額 (注2)
	車両・部品調達 代行業業	人材紹介事業	自動車ファンド 事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	206,933	97,338	19,438	2,398,115	—	2,398,115
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	206,933	97,338	19,438	2,398,115	—	2,398,115
セグメント利益	37,399	43,094	677	1,213,451	△240,474	972,976

(注) 1. セグメント利益の調整額△240,474千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

II 当中間連結会計期間(自 2024年1月1日 至 2024年6月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					
	情報プラットフォーム事業	コンサルティング事業	市場予測情報販売事業	プロモーション広告事業	分解調査データ販売事業	車両分解・計測事業
売上高						
外部顧客への売上高	1,772,731	314,140	157,951	55,278	94,019	93,600
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	1,772,731	314,140	157,951	55,278	94,019	93,600
セグメント利益	1,074,131	85,192	49,838	48,978	40,398	36,339
	報告セグメント				調整額(注1)	中間連結損益計算書計上額(注2)
	車両・部品調達代行事業	人材紹介事業	自動車ファンド事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	234,827	43,495	19,492	2,785,538	—	2,785,538
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	—	—	—	—	—
計	234,827	43,495	19,492	2,785,538	—	2,785,538
セグメント利益	34,824	5,324	930	1,375,959	△262,258	1,113,700

(注) 1. セグメント利益の調整額△262,258千円は、各報告セグメントに配分していない全社費用であり、各報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

2. セグメント利益は、中間連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

リバースエンジニアリング分野において、これまでよりさらに幅広い領域をカバーするための新サービスを提供する事業を開始したことに伴い、当中間連結会計期間より「車両分解・計測事業」を報告セグメントとして追加しております。

なお、前中間連結会計期間のセグメント情報については、変更後の区分に基づき作成しております。